

演題数は、口演ばかりの49件の一般演題が応募され、特別講演として、KS研究所代表取締役の手塚則雄先生に「失敗に学ぶ～一般社会・産業界における失敗から医療を考える～」が聴講されました。病院とは全く異なる企業からの医療に対する視点と失敗学は大いに興味をそそられたものと考えられます。

本会は、医療マネジメントというキーワードによって、医師のみならず看護師、薬剤師、医療技術師、栄養士、事務職の参加も含む医療に関係する全ての方々が対等に医療の在り方を議論し、医療の標準化を図る場として開催され、クリティカルパス・医療安全・院内感染・NST・医療連携・電子カルテ・医療経営・患者サービスなどのテーマにおいて、活発で熱心な討論が行われ、盛会の内に終了できましたことを報告いたします。

(文責：高知医療センター病院長(高知県支部長)堀見忠司)

第5回広島支部学術集会

支部長：広島県病院事業管理者 大濱紘三

2009年9月5日(土)、広島市民病院の10階講堂にて第5回広島支部学術集会を開催しました。支部長・広島県病院事業管理者 大濱紘三先生より開会の挨拶後、事務局から1年間の活動報告を行いました。

その後のシンポジウムIでは「DPCの現状と将来」と題し(座長 DPC分科会長・呉共済看護専門学校校長 岡崎富男先生)、広島赤十字原爆病院事務部医事管理課長 西田節子先生より「これからのDPC」、広島市立広島市民病院医療支援センター診療情報管理室主査 梅本礼子先生より「診療情報管理士とDPCに於ける新しい視点」、国立病院機構呉医療センター・中国がんセンター経営企画室長 石橋健治先生より「当院におけるDPC情報の活用と国立病院機構における他施設ベンチマーク活用について」、広島赤十字原爆病院院長 土肥博雄先生より「診療報酬から見たDPCと出来高払い」をそれぞれご講演頂きました。

また、シンポジウムIIでは、「広島の医療人養成」と題し(座長 支部長・広島県病院事業管理者 大濱紘三先生)、日本赤十字広島看護大学看護学部学長 新道幸恵先生より「看護師の育成」、福山大学薬学部薬剤設計学教授 片山博和先生より「薬剤師の育成」、広島大学医学部医学部長河野修興先生より「医学者の育成」、広島国際大学 医療経営学科教授 白髪昌世先生より「医療経営担当者の育成」をそれぞれご講演頂きました。

当日は、250名の参加者があり、多くの関係者の支援と協力のお蔭で盛大の内に第5回広島支部学術集会を終了することができました。

(文責：日本医療マネジメント学会広島支部事務局長補佐 吉田雄次)

第1回福島支部学術集会

当番幹事：(財)太田総合病院附属太田西ノ内病院副院長 山崎 繁



会場風景

2009年9月12日(土)、(財)太田総合病院附属太田西ノ内病院において、第1回福島支部学術集会が行われ、県内の医療関係者など約120名が参加いたしました。

2009年4月に福島支部が発足し、記念すべき第1回の学術集会となりました。山崎繁会長の挨拶で始まり、「医療安全について」のテーマで教育・研修、安全管理対策、地域連携、DPCなどのセッションに分け、一般演題18題の発表が行われ、各施設の活動などが報告されました。特別講演は九州大学大学院医学研究院准教授の鮎澤純子先生による「医療安全・・・ところで、安全になったのだろうか」と題してご講演いただきました。そのほか4施設12題のクリティカルパスも展示され、参加者は今後の職場改善の一步に繋げようと熱心にメモを取る姿や意見も交わされるなど大変、充実した学術集会となりました。学会参加者のご協力いただきました皆様に感謝申し上げます。

(文責：太田西ノ内病院庶務課 渡部修司)

第6回鳥取支部学術集会

学術集会会長：鳥取県立中央病院院長 武田 倬



会場風景

2009年9月12日(土)、鳥取市とりぎん文化会館において鳥取支部学術集会を開催致しました。

大会テーマは「医療の標準化と安全～コスト削減と質の確保～」で、特別講演I

は京大の長尾能雅先生に「医療安全と質の向上のために」、特別講演IIでは恵寿総合病院の神野正博先生に「病院IT化と地域医療を考える」、ランチセミナーはメディカルアーキテクト 堀 宏治様に「DPCデータから見る質～DPCデータをマネジメントに活かす～」をご講演頂きました。

シンポジウムIは「コスト削減対策と質の確保」、シンポジウムIIは「感染のクライシスマネジメント～新型インフルエンザへの備え～」で県内外11名のシンポジストをお招きしました。一般演題は口演14題、ポスター16題、クリティカルパス展示11題で、荒天のなか329名のご参加を頂きました。本会の開催に当たりましては病院内外の方々より多大なる御協力を頂き、円滑な運営をさせて頂きました。この場をお借りして皆様に深く御礼申し上げます。

(文責：鳥取県立中央病院外科部長 清水 哲)